

## 7月定例教育委員会 会議録

日	時	平成30年7月11日（水） 午前9時30分～午前9時50分									
場	所	甲府市役所 9階 会議室9-2									
出席委員	小林教育長・小宮山職務代理者・原委員・堀委員・市川委員										
出席事務局職員	嶋田教育部長・饗場教育総室長・山本生涯学習室長（生涯学習課長兼任）・星野総務課長・松田学校教育課長・宮川学事課長・照沼教育施設課長・本田甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中歴史文化財課長・小林スポーツ課長、本田図書館長・芦川総務課課長補佐・宮川総務課課長補佐・鷹野総務課課長補佐・保坂総務課主任										
傍聴人	1名										
署名委員											
委員会書記											
・教育委員あいさつ											
・会議録署名委員の指名 堀委員											
・6月定例会及び臨時会会議録の承認 原案のとおり承認											
<table style="margin: auto; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小林</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">堀</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小宮山</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市川</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原</td> </tr> </table>			小林			堀		小宮山	市川		原
小林											
堀		小宮山									
市川		原									
<p><b>1 開会</b></p> <p><b>小林教育長</b></p> <p>これより7月定例教育委員会を開会します。</p> <p><b>(1) 教育委員あいさつ</b></p> <p><b>堀委員</b></p> <p>皆さんおはようございます。今年は例年にはない早さで梅雨が明けましたが、先週末から日本列島全体が記録的な豪雨に見舞われ、西日本を中心に甚大な被害を受けました。心よりお見舞い申し上げますとともに、被災された方々が一日も早く元の生活に戻られるよう祈っております。これから暑さも益々厳しくなりますが、暑さ対策と夏バテ防止を心掛け、元気に乗り切っていきたいと思います。</p> <p>さて、先月行われました総合教育視察も、皆様のご協力のもと無事に終えることができました。本当にありがとうございました。日常の教育現場を肌で感じることができ、先生方も子供達も多くの課題を抱えながらも一生懸命に取り組んでいる様子を目の当たりにさせていただきました。子供達もやがては社会人となり、それぞれの分野で活躍する大事な一人ひとりだと思います。そ</p>											

の一番の基礎を作る学校環境の重要性を痛感いたします。一人ひとりの可能性を大きく開いていけるようにこれからもメールを送り続けていきたいと思えます。

話は変わりますが、先日ある面白い新聞記事を見つけました。ちょっと紹介させていただきます。「視点を変える」という内容の記事です。

『「ぼくのお父さんは桃太郎というやつに殺されました」ぎょっとする言葉は、ある新聞広告コンテストの受賞作品。桃太郎という誰もが知る昔話を、成敗した鬼の子供の立場から捉え直したものである。言われてみればそのとおりが、なかなか思いつかない。ならば、桃太郎も鬼も“めでたしめでたし”になる別の結末もあるのでは。岡山県のある中学校では「視点を変える」をテーマに、いわば「新・桃太郎」を創作する授業がある。生徒からは「農業を教えれば鬼は村を襲う必要がなくなる。だから桃太郎が農機具を持っていく。」などユニークな発想が次々生まれるという。一度確立され、慣れっこになったものの見方を変えることは容易ではない。それを変えてみるきっかけの一つが他者との対話ではないか。こちらの思いをぶつけるだけでなく、相手の話をじっくり聞いてみる。そこで得た気付きが自身の心を変える出発点にもなる。新たな視点の獲得、ここに対話の醍醐味がある。』という内容です。この桃太郎のキャッチコピーは2013年日本新聞協会広告委員が「しあわせ」をテーマに実施した「新聞広告クリエイティブコンテスト」で栄えある最優秀賞を受賞した作品です。「逆からの視点で幸せとは何かを考えさせる発想が抜きん出ている、エッジの効いた作品」と、高い評価を受けたそうです。また、岡山県は桃太郎の故郷と言われていることから、このキャッチコピーをもとに、岡山市立西中学校の二年生の道徳の授業で取り上げ、「多様な価値観がぶつかり合う時代に異なる視点を持つ事の大切さを考える」という目的で、3回に渡って行われたそうです。1回目は、「現在から学ぶ鬼太郎（鬼の子供）の視点から物語をとらえ直してみる」をテーマに、2回目は、「過去から学ぶ、それぞれの局面で選択肢を考える。」、3回目は、「未来から学ぶ、「続・桃太郎」を書いてみる。」という内容で実施したそうです。とても興味深い、面白い授業が行われているものだと感じました。また、新・学習指導要領のキーワードである「主体的、対話的で深い学び」がこういう形で、実施されているのかと大変感銘を受けました。自分以外の人達の意見を聞き、心の領域を大きく広げ、深めることができる。物事を一側面から見るのではなく様々な角度から見ることができ、更に良い部分を見極めていく力を磨いていける。このアクティブラーニングはそういう可能性を秘めた取り組みだと思えました。

総合教育視察をとおして改めて思ったのですが、新・学習指導要領を実際に進めていくことは、荒地を整地にしながら同時進行で建物を立てていくような非常に困難を伴うものと思われま。しかし、情報化社会、国際社会を生き抜いていくためには、子供達が知識を身に付けるだけでなく、それらを自分らしく自在に活用して、様々な問題解決に役立てる力を育てることが必要で、そのためにも皆で総力をあげて取り組んでいくべきなのだと強く感じました。私達大人も、時には子供の立場に立って考えてみることで子供との信頼関係を一層深められると思えます。新・学習指導要領も、子供達の意見を取り入れながら進めていけたら、本当の意味で、「主体的、対話的で深い学び」の実現に繋がっていくのではないかと思います。誰もが“めでたしめでたし”になる社会を目指して、これからも勇気の挑戦を粘り強く進めていきたいと思えます。以上であいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

## **(2) 会議録署名委員の指名**

**小林教育長**

会議録の署名委員は、堀委員を指名します。

## **(3) 前回会議録の承認**

**小林教育長**

前回の議事録についてですけど、事前にお手元に渡っているかと思えますけども、それについて何かご意見ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では承認いただいたということでありありがとうございます。

**【原案どおり決定】**

(教育委員会承認)

## **2 議事**

### **(1) 議題**

**小林教育長**

議題 第9号 甲府市立図書館の夏季期間の開館時間について 資料に基づきまして、本田館長より説明をお願いします。

(本田図書館長より資料に沿って説明)

**小林教育長**

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

**小林教育長**

それでは原案のとおり決定するということでよろしいでしょうか。

原案のとおり決定いたしました。

**【原案どおり決定】**

(教育委員会決定)

## **3 閉会**

**小林教育長**

それではこれもちまして、7月定例教育委員会を閉会します。